

市長公約の取組状況（令和4年3月末現在）

10項目			
	47プラン	取組状況	関係部局
1 新型コロナウイルス感染症対策			
1	ワクチン接種を確実にかつ速やかにできるよう万全を期します。	<p>○令和3年4月以降、高齢者施設入所者からワクチン接種を順次開始し、令和4年11月に希望する12歳以上の方々への接種を概ね完了しました。</p> <p>○令和4年1月以降、高齢者施設入所者から3回目の接種を開始し、令和4年5月中に、希望する市民への接種を概ね完了するよう取組を進めております。</p> <p>○また、5歳から11歳の子どもへの接種についても、令和4年3月中旬から開始しました。</p>	保健所
2	無利子融資の拡充、プレミアム商品券の発行により、市内の卸・商店等を支援します。	<p>○国・県による当初3年間の無利子融資を拡充し創設した、「4年目以降の利子補給制度」について、各金融機関と協議し、実施体制を整備しました。</p> <p>○秋田市商品券事業実行委員会を設置し、幅広い業種の店舗で使用可能な1冊1万円の商品券を8千円で購入できる本市独自のプレミアム付商品券10億円分を発行しました。</p>	産業振興部 観光文化スポーツ部
3	子どもへの支援金を支給します。	○新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯を支援するため、本市独自の給付金として、0歳から18歳までの児童を養育する保護者に対して、児童一人あたり1万円を支給しました。	子ども未来部
4	採用支援金の交付、資格取得への助成など、感染症の影響により解雇・離職された方を支援します。	○「新型コロナウイルス感染症対策離職者採用支援事業補助金」や「新型コロナウイルス感染症対策離職者資格取得助成事業補助金」の積極的なPRを通じた利用促進に努め、再就職の促進を図りました。	産業振興部
2 未来が見えるまちづくりの促進			
5	中心市街地の魅力を高める民間のプロジェクトをさらに支援します。	<p>○中心市街地で実施されたイベント等の経費の一部を負担しました。</p> <p>○民間事業者による優良建築物等整備事業に対し、「中心市街地優良建築物等整備事業費補助金」により、支援しました。</p>	観光文化スポーツ部 都市整備部
6	「コレアキ」「ホコ天」開催により、さらなる賑わいを創ります。	<p>○令和3年度の「これが秋田だ！食と芸能大祭典」は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりましたが、令和4年度に本市で開催する「東北絆まつり2022秋田」との同時開催に向けた調整を進めました。</p> <p>○秋田商工会議所等で構成する「広小路バザール実行委員会」に対し、広小路バザールの開催費用の一部を補助しました。</p>	観光文化スポーツ部 産業振興部
7	あきた芸術劇場と市文化創造館で質の高い文化を発信します。	<p>○あきた芸術劇場については、令和4年3月に竣工し、指定管理者であるあきた芸術劇場AAS共同事業体に開館準備業務を委託するとともに、開館プレイベントを実施しました。また、本市と県において、あきた芸術劇場で使用する備品を発注しました。</p> <p>○文化創造館については、指定管理者であるNPO法人アーツセンターあきたが管理運営を行いました。</p>	企画財政部 観光文化スポーツ部

10項目		
47プラン	取組状況	関係部局
8 まちなか観光案内所を中心としたまち歩き観光を充実します。	○本市観光案内の拠点として、専任職員および観光案内人を配置するなど、まちなか観光案内所の運営を行いました。	観光文化スポーツ部
9 佐竹史料館の整備を中心とした千秋公園の再整備を促進します。	○令和3年3月に策定した「佐竹史料館改築の基本的な考え方」に基づき、「佐竹史料館改築基本計画」を策定し、実施設計・工事着手に向けた調整・準備を行いました。 ○さくら景観整備および内堀等水質浄化整備等を行いました。 ○大手門の堀遊歩道整備基本計画を策定しました。	観光文化スポーツ部 建設部
10 スーパーシティによる若者にとって魅力あるまちづくりを実現します。	○本市と共に外旭川地区のまちづくりを行う事業パートナーの選定プロポーザルを実施し、最優秀提案者を決定しました。	企画財政部 デジタル化推進本部 その他関連部局
11 AIやICTを活用し、環境、防災のまちづくりを実現します。	○本市と共に外旭川地区のまちづくりを行う事業パートナーの選定プロポーザルを実施し、最優秀提案者を決定しました。 ○再生可能エネルギー等を利活用したまちづくりの先行事例等の調査、情報収集に努めました。	環境部 総務部 デジタル化推進本部
12 現代の流通・ニーズに対応した卸売市場の再整備を進めます。	○公募型プロポーザルにより基本構想策定業務の委託事業者を選定し、市場内事業者の現状や経営戦略等についてヒアリングを行うとともに、市場運営協議会等から意見聴取等を行い、本市場のあり方について、検討を進めました。	産業振興部
13 県や民間との共同による新スタジアムの整備を推進します。	○本市と共に外旭川地区のまちづくりを行う事業パートナーの選定プロポーザルを実施し、最優秀提案者を決定しました。	企画財政部 観光文化スポーツ部
14 泉外旭川駅開業により、公共交通網を充実させます。	○外旭川駅前広場へ路線バスを乗り入れするため、経路となる県道と接続する交差点改良工事に係る調査設計、用地買収および補償を実施しました。 ○将来にわたり持続可能な公共交通ネットワークの実現を図るため、市内の大学等と連携し、公共交通に関する調査・研究を行うとともに、路線の見直し等で活用するためのビッグデータを購入しました。 ○中心市街地循環バスぐるるおよび秋田市マイタウン・バス（予約制を除く）にGPS端末を設置し、リアルタイムの位置情報をオープンデータとして公開しました。 ○公共交通の利用が不便な地域の高齢者や、運転免許証を持たない人のため、タクシー事業者およびスーパーマーケット等と連携し、高齢者等の日常生活に必要な移動手段を確保することを目的とした「買物タクシー」を運行する実証実験を、新藤田地区（手形字中台を含む）で実施しました。	都市整備部
15 都市計画道路泉外旭川線、大浜上新城線の整備を促進します。	○泉外旭川線については、支障物移転補償や土地賃貸借を行った上で、工事に着手しました。 ○大浜上新城線については、事業実施主体である県に対し、早期完成に向けた要望活動を行いました。	建設部

10項目			
	47プラン	取組状況	関係部局
3 デジタル化の推進			
16	押印の廃止とデジタル化を強力に進め、市役所に行かなくても全ての手続きができる「デジタル市役所」を実現します。	<p>○取扱件数が1,000件以上の行政手続について、令和3年度内に78件をオンライン化しました。</p> <p>○住民票の写しや所得・課税証明書等の6種類の証明書について、オンライン申請の際のクレジット収納を導入しました。</p> <p>○定型業務へのRPA試行結果について全庁で共有するとともに、次年度以降のRPA導入業務選定作業を行いました。</p>	デジタル化推進本部 総務部 企画財政部
17	市民を待たせない総合窓口支援システムを導入します。	○新総合窓口支援システムの導入に向けて、データ連携等の環境整備を行い、令和4年1月4日より同システムの運用を開始しました。	市民生活部
4 さらなる産業の振興と雇用の創出			
18	仁井田浄水場整備は地元を優先して発注し、建設業の振興と雇用を守ります。	○令和4年1月19日に公告した仁井田浄水場等整備事業に係る募集要項の参加資格において、「建設JVを構成する土木、建築、機械および電気の各企業には、秋田市内に本社又は本店を置く建設企業1社以上、計4社以上を含むものとする。」とし、地域経済に貢献する取組をより明確化しました。	上下水道局
19	テレワーク、ワーケーションなどによりさらなる企業誘致を促進します。	<p>○トップセールスなどにより、誘致企業の本社・親会社への働きかけや成長が見込まれるICT関連等の新規開拓を県とともに進め、本市独自の優遇制度や立地環境の優位性等のPRに努めたほか、本市でのサテライト体験などを活用した企業誘致活動を積極的に展開しました。</p> <p>○企業動向調査において、「本市への新規立地の可能性がある」と回答した企業に対し、オンライン等によるテレワーク従事者の移住促進事業や、県のリモート拠点整備等の支援制度を活用しながら、県と連携した誘致活動を行いました。</p> <p>○IT関連企業等の立地促進を図るため、民間事業者のレンタルオフィス等の入居費の補助制度を検討しました。</p>	産業振興部
20	正社員化や雇用拡大により若者の地元定着を促進します。	<p>○アンダー40正社員化促進事業について、制度の積極的なPRを通じたさらなる利用促進に努め、安定した雇用の拡大を図りました。</p> <p>○若者の就職促進と地元定着を図るため、フレッシュマンの集いや若手社員向けコミュニケーション研修を開催しました。また、新卒者地元就職促進事業による企業研究会や高校教諭等の職場見学会開催、市内企業の採用情報等を掲載した就活ガイドブック作成のほか、令和3年度に創設した中小企業採用・人材育成支援事業により、企業の採用活動やインターンシップおよび人材育成等を支援しました。</p> <p>○本市独自の優遇制度や立地環境の優位性等のPRに努めたほか、県と連携し、新規企業の誘致と既存企業の事業拡大を促進し、若者の雇用拡大を図りました。</p> <p>○本市創業支援事業計画に基づき、秋田商工会議所をはじめとする創業支援事業者と連携・情報共有し、起業の支援と雇用の創出を行ったほか、創業支援補助金制度や融資あっせんによる資金支援を行いました。</p>	産業振興部

10項目		
47プラン	取組状況	関係部局
21 農業の複合経営をさらにおし進め、圃場整備とスマート農業を推進します。	<p>○下新城笠岡西部地区など14地区のほ場整備等を実施した「県営土地改良施設等整備事業」について、費用の一部を負担しました。</p> <p>○スマート技術等を活用した農作業の省力化、低コスト化に必要な機械等の導入を支援しました。</p> <p>○園芸振興センターにおいて、AIやICTを活用した自動かん水施肥システムを導入したほか、いちごのJGAP認証を取得しました。</p> <p>○農業法人等の園芸用ハウスや園芸用機械の導入を支援しました。</p> <p>○新規就農研修、冬期農業研修等の担い手育成に係る支援を実施しました。</p> <p>○JAが行う農産物の安全性検査や、ダリアの需要拡大に必要な経費を支援しました。</p>	産業振興部
22 河辺地域における県産ウイスキー蒸留所、酒工房整備を支援します。	<p>○新型コロナウイルス感染症の拡大を契機とした社会変容を捉え、本市の豊かな自然や環境等を活用し、首都圏等からの人の流れを呼び込むことを目的とした「農山村資源活用基本構想」を策定しました。</p> <p>○民間事業者が行うウイスキー・日本酒の製造に関連した事業等を効果的かつ円滑に進めるため、「地域未来投資促進法に基づく基本計画（秋田県秋田市基本計画）」を策定しました。</p>	産業振興部 市民生活部（河辺SC） その他関連部局
23 雄和地域における農業、芸術、教育機関などの地域資源を連携させた地域の活性化を促進します。	<p>○雄和地域における農業、芸術、教育機関などの地域資源に関するデータベースを作成するとともに、地域づくりの中核・担い手となる住民組織の立ち上げに向けて、検討を行いました。</p>	市民生活部（雄和SC） 産業振興部 観光文化スポーツ部
5 子どもを生き育てやすい環境づくり		
24 子ども医療費と放課後児童クラブへの助成を拡充します。	<p>○子どもの医療費助成制度の拡充案を検討しました。</p> <p>○国の補助基準額の改定に合わせて放課後児童クラブへの助成を拡充しました。</p>	子ども未来部
25 妊婦へのインフルエンザ予防接種費用を助成するとともに、不妊治療支援を大幅に拡充します。	<p>○令和3年10月1日から令和4年2月28日までに妊婦が受けたインフルエンザ予防接種の費用の一部を助成しました。</p> <p>○一般不妊治療について、令和3年4月1日から所得要件を撤廃しました。</p> <p>○不育症検査について、令和3年6月から助成事業を実施しました。</p> <p>○特定不妊治療について、国の制度改正を踏まえ、支援のあり方を検討しました。</p>	保健所 子ども未来部
26 第一子からの保育料無償化を継続します。	<p>○第1子保育料無償化事業を継続実施しました。</p> <p>※令和3年度は1,366人に対し、287,612千円の保育料を助成しました。</p>	子ども未来部
27 広面児童館の改築や四ツ小屋、寺内児童センターの大規模改修など、放課後の児童の安全な居場所づくりを計画的に進めます。	<p>○広面児童館の移転改築のほか、四ツ小屋児童センターと寺内児童センターの屋根および外壁の大規模改修を実施しました。</p>	子ども未来部

10項目			
	47プラン	取組状況	関係部局
6 高齢者などが活躍できる全ての人にやさしいまちの実現			
28	エイジフレンドリーシティ（高齢者にやさしい都市）の取り組みをさらに推進します。	<p>○エイジフレンドリーシティ行動計画推進委員会や庁内推進会議に諮りながら、エイジフレンドリーの視点で全ての事業を見直した109事業による「第3次行動計画」を策定しました。</p> <p>○総務省のデジタル活用支援推進事業を活用し、各市民サービスセンターにおいて、スマートフォン教室を開催しました。</p>	<p>福祉保健部 デジタル化推進本部 その他関連部局</p>
29	介護予防事業の拡充と地域包括支援センターの体制強化、見守り活動を充実します。	<p>○介護予防事業の拡充については、生活支援コーディネーターや協議体による、住民を対象としたワークショップを開催したほか、要支援者等が参加する通いの場を通年で募集し、要件を満たす団体に補助を行いました。</p> <p>○通いの場へ派遣する医療専門職の職能団体に対し、事業内容の説明と事業への協力を依頼するなど、介護予防事業の拡充に向けた体制づくりに努めました。</p> <p>○地域包括支援センターの体制強化については、ケアプランの作成および評価時にリハビリ専門職と連携した同行訪問や助言等の支援を実施し、専門職の意見を取り入れることにより、ケアマネジメント力を高めました。</p> <p>○介護予防ケアプランについての詳細なデータ分析を専門機関に依頼し、本人の状況等に応じたケアプラン作成についてスキルアップを図りました。</p> <p>○見守り活動の充実については、新たな事業者と見守り協定を締結し、これまでの締結事業者とともに見守り活動を行うことにより、日常生活における活動の強化を図りました。</p> <p>○認知症サポーター養成講座や認知症関連研修を実施したほか、警察および地域包括支援センターとの協力による認知症高齢者の事前登録についても、登録者の増加に努めるとともに、情報共有を図るなど、関係機関との連携による地域の見守り体制づくりを進めました。</p>	<p>福祉保健部</p>
30	障がい者の雇用拡大と芸術・文化・スポーツ活動を積極的に支援します。	<p>○初級障がい者スポーツ指導員養成講習会の受講者に対し、助成を行いました。</p> <p>○障がい児者スポーツセミナー（パラスポーツフェスタ）については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。</p> <p>○市内の中・高等学校および特別支援学校の文化活動を対象とする助成を行いました。</p> <p>○ハローワーク秋田等の関係機関と連携し、障がい者向け合同就職説明会の開催案内や法定雇用率等を周知するとともに、企業の障がい者雇用に対する環境整備の支援について検討しました。</p> <p>○障がい者アート活動支援事業については、文化創造館において令和3年11月3日から14日まで作品展を開催したほか、情報発信のためのウェブサイトの更新を行いました。</p> <p>○障がい者スポーツ教室開催事業については、新型コロナウイルス感染症の影響から中止となりました。</p> <p>○就労移行支援等の事業所の開設について関連法人に働きかけ、就労移行支援事業所（1事業所）が新たに開設されました。</p>	<p>福祉保健部 産業振興部 観光文化スポーツ部</p>
31	LGBTQ（性的マイノリティ）のパートナーシップ制度を導入します。	<p>○男女共生と多様性に関する市民意識調査を行ったほか、広報あきたやSNS等を通じた意識啓発や理解の促進を図り、パートナーシップ宣誓制度を令和4年4月1日にスタートしました。</p>	<p>市民生活部</p>

10項目			
	47プラン	取組状況	関係部局
7 芸術文化・スポーツ・観光によるまちづくり			
32	芸術・文化・歴史などの地域資源を活かした住民参加による「文化創造プロジェクト」を推進します。	○リーディング事業である展覧会「200年をたがやす」について、令和2年度から継続して令和3年9月まで実施しました。また、今後のプロジェクト推進に向け、外部有識者と意見交換等を行う文化創造プロジェクト推進会議を3回開催しました。	企画財政部
33	地元トップスポーツクラブを支援するとともに、さらなる応援機運の醸成を図ります。	○トップスポーツクラブ（秋田ノーザンハピネッツ、ブラウブリッツ秋田、秋田ノーザンブレッツ）へのスポンサー補助を行いました。 ○トップスポーツクラブのホームゲームについて、のぼりやバナーの掲出等によるPRを行いました。	観光文化スポーツ部
34	クルーズ船誘致等によりインバウンド誘客を促進します。	○新型コロナウイルス感染症の影響により、予定されていたクルーズ船の寄港が全てキャンセルとなったものの、港湾管理者である県と合同で、内航船の寄港を想定した受入訓練のほか、金沢港でのPRイベントへの出展やセリオン内のクルーズ船PRコーナーの更新などを実施しました。 ○県が招いたジャパネットクルーズやシルバーシークルーズの関係者などに対し、市内観光施設の案内や紹介を行うなど、寄港誘致や商品造成につながる取組を実施しました。	観光文化スポーツ部
35	秋田城跡等の整備により、歴史を活かした都市の魅力を向上させます。	○羽州街道の歴史観光資源としての周知および文化財の有効活用のため、羽州街道沿線の文化財等を会場とした「羽州街道歴史まつり」を開催したほか、羽州街道を舞台としたミュージカル公演を支援しました。 ○令和4年12月完成、令和5年3月の開館に向けて、旧松倉家住宅の修復整備工事を平成31年度から継続して進めました。 ○史跡公園連絡橋の整備工事および史跡公園の城内東大路復元工事を完了しました。	観光文化スポーツ部
8 地球温暖化対策の推進			
36	秋田沖洋上風力の実現により、環境産業を創出します。	○あきた次世代エネルギーパークにおける施設見学会の開催や、本市の豊かな自然と再生可能エネルギーをPRする映像製作を行い、県内外に広く情報発信を行いました。 ○「秋田県男鹿市、潟上市及び秋田市沖における協議会」に参画し、令和4年1月に開催された第1回協議会において、促進区域指定に向け、国、県、関係市および漁業関係者等と協議を実施しました。 ○洋上風力関連産業の動向について情報収集に努めました。	環境部 産業振興部
37	水素エネルギー活用など再生可能エネルギー拡大と民間企業の省エネ設備導入に対する支援等によりゼロカーボンを推進します。	○水素コンソーシアム等の講演会等に参加し、国の実証事業等の情報収集を行いました。 ○民間企業の省エネ設備導入に対する支援として、中小企業等省エネ促進事業を継続して実施しました。	環境部

10項目			
	47プラン	取組状況	関係部局
9 安全・安心なまちづくり			
	38 バスとタクシーを組み合わせた持続可能で快適な公共交通を実現します。	<p>○将来にわたり持続可能な公共交通ネットワークの実現を図るため、市内の大学等と連携し、公共交通に関する調査・研究を行うとともに、路線の見直し等で活用するためのビッグデータを購入しました。</p> <p>○中心市街地循環バスぐるるおよび秋田市マイタウン・バス（予約制を除く）にGPS端末を設置し、リアルタイムの位置情報をオープンデータとして公開しました。</p> <p>○公共交通の利用が不便な地域の高齢者や、運転免許証を持たない人のため、タクシー事業者およびスーパーマーケット等と連携し、高齢者等の日常生活に必要な移動手段を確保することを目的とした「買物タクシー」を運行する実証実験を、新藤田地区（手形字中台を含む）で実施しました。</p>	都市整備部
	39 交通系ICカードを導入し、公共交通の利便性を向上します。	<p>○令和3年度中の「地域連携ICカード」の導入に向け、バス事業者、カード開発事業者等との協議を進め、バス事業者に対し、ICカードシステム導入にかかる費用の一部を補助しました。</p> <p>○秋田市マイタウン・バスについても、路線バスと同時にサービスを開始できるよう、必要機器等を導入しました。</p>	都市整備部
	40 古川の治水対策を促進するとともに、秋田地区河川防災ステーション（仮称）を整備します。	<p>○古川排水機場について、詳細設計および用地調査を行うとともに、連絡道路および橋梁整備に向けた地質調査および設計業務に着手しました。</p> <p>○雄物川の河川管理者である国交省と協議を進め、排水機場整備に関する河川法の許可を受けました。</p> <p>○河川防災ステーションについて、国との連携により整備計画を策定し、令和4年3月25日付けで同計画が国から登録承認されました。</p> <p>○古川雨水排水ポンプ場について、関係機関との事前調整、基本設計業務、地質調査業務および用地調査を実施しました。</p>	建設部 総務部 上下水道局
	41 都市計画道路川尻広面線（横町工区）の整備を促進します。	○都市計画道路川尻広面線の整備に向け、交通量調査を実施しました。	建設部
	42 市立秋田総合病院を改築し、より安全・安心で良質な医療を提供します。	○法人の新病院建設工事の施工に当たり、設立団体として必要な支援を行いました。	福祉保健部

10項目			
	47プラン	取組状況	関係部局
10 市民協働と教育の充実			
43	「秋田市のブランド化（シティプロモーション）」を推進し、交流人口・関係人口の増加を促進します。	<p>○東京駅八重洲口、羽田空港国内線第二ターミナル、秋田駅、秋田空港および竿燈まつりの屋台において、移住促進をPRする掲示物を設置し、本市への移住に関心を持つ方の増加と本市ブランド力の向上を図りました。</p> <p>○スマートフォン等の位置情報サービスを活用し、本市に興味関心を持つ首都圏の居住者等に対して事業などの情報を直接配信することを通じ、関係・交流人口の増加と本市ブランド力の向上を図りました。</p> <p>○市内に選定している3箇所のモデル地区において、地区住民と大学生などによるワークショップを開催し、転出者の抑制や本市に人を呼び込むために必要なモノを整理するとともに、まちに関わる当事者意識の醸成と住民による情報発信に繋がりました。</p> <p>○職員を対象としたシティプロモーションに関する講演会やワークショップなどを開催するとともに、人口減少対策庁内連絡協議会などを通じてブランドメッセージ「ちよどいいから 住みやすい」の活用をはじめとした同基本方針への理解を深めるための取組を実施しました。</p>	企画財政部
44	「まちへの市民の誇り（シビックプライド）」を醸成します。	<p>○市内3箇所に選定しているモデル地区のうち、農山村地区において地区住民の意見を取り入れたプロモーションビデオを制作したほか、紙面（かわら版）を各地区の全戸に配布しました。</p> <p>○中心市街地では、令和高校の協力を得て、透明ドームテントの活用による居場所づくりをテーマに掲げ、テントの組立実験と販売実験を行いました。</p>	企画財政部
45	泉地区コミセンの大規模改修、上北手地区コミセンの改築など、地域の自治活動や防災の拠点となるコミュニティセンターの計画的な整備を進めます。	<p>○上北手地区コミュニティセンター改築予定地の造成工事、地質調査のほか、構造設計の業務委託を行いました。</p> <p>○泉地区コミュニティセンター大規模改修工事を契約締結し、工事に着手しました。</p> <p>○上新城、下浜および豊岩地区コミュニティセンターの劣化度調査を行いました。</p>	市民生活部
46	小・中・高等学校について、全普通教室へエアコンを設置するとともに、1人1台のタブレット配付を行います。	<p>○市立小中学校の普通教室などのほか、高等学校等の普通教室に空調を設置しました。</p> <p>○高等学校等に一人1台のタブレット型パーソナルコンピュータを導入しました。</p>	教育委員会
47	老朽化した日新小学校を地域景観に調和した木造により改築します。	○拡張予定地の不動産鑑定、用地の取得、改築の基本設計・実施設計を行いました。	教育委員会